

「ソフトバンク大牟田三池港ソーラーパーク」の 運転開始について

ソフトバンクグループで自然エネルギー事業などを行う SB エナジー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：孫 正義、以下「SB エナジー（エスビー エナジー）」）と三井物産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：飯島 彰己）は、共同で設立した特定目的会社（SPC）「大牟田三池港ソーラーパーク株式会社」を通じて 2015年3月10日より「ソフトバンク大牟田三池港ソーラーパーク」の営業運転を開始します。

「ソフトバンク大牟田三池港ソーラーパーク」は、日本コークス工業株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：西尾 仁見）が所有する福岡県大牟田市四山町の約 22 万㎡（約 22.0ha）の土地において、出力規模が約 1 万 9,600kW（19.6MW）、年間予想発電量が一般家庭約 5,570 世帯分の年間電力消費量に相当する約 2,005 万 kWh を見込むメガソーラー発電所となります。

SB エナジーと三井物産の両社は、今後も自然エネルギーの普及・拡大を目指し、メガソーラーをはじめとする自然エネルギー発電所の建設と運営を推進します。

今回のメガソーラー発電所概要は以下の通りです。

■ 「ソフトバンク大牟田三池港ソーラーパーク」概要

所在地	福岡県大牟田市四山町
敷地面積	約 22 万㎡（約 22.0ha）
出力規模（太陽電池容量）	約 1 万 9,600kW（約 19.6MW）
年間予想発電量	約 2,005 万 kWh／年（約 2 万 50MWh／年） 一般家庭約 5,570 世帯分の年間電力消費量に相当 ※1 世帯当たり 3,600kWh／年で算出
運転開始	2015年3月10日（火）

■ 「ソフトバンク大牟田三池港ソーラーパーク」 写真



- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。